



方程式

名前

等式の性質

- ①等式の両辺に同じ数を足しても、等式は成り立つ。 $A=B$ ならば $A+C=B+C$
- ②等式の両辺から同じ数を引いても、等式は成り立つ。 $A=B$ ならば $A-C=B-C$
- ③等式の両辺に同じ数をかけても、等式は成り立つ。 $A=B$ ならば $AC=BC$
- ④等式の両辺を同じ数でわっても、等式は成り立つ。 $A=B$ ならば $\frac{A}{C} = \frac{B}{C}$
(C は 0 ではない)
- ⑤等式の両辺を入れかえても、等式は成り立つ。 $A=B$ ならば $B=C$

1 等式の性質を使って、方程式を解きましょう。

① $x + 7 = 12$

② $4x = 24$

③ $x - 3 = 4$

④ $\frac{x}{8} = 2$

移項

等式的一方にある項を、その符号を変えて他方の辺に移すことができる。

$$A + a = B \rightarrow A = B - a$$

2 移項を使って、方程式を解きましょう。

① $x - 6 = -2$

② $x + 8 = 1$



2

方程式

名前

1 次の方程式を解きましょう。

① $3x - 1 = 14$

② $5x + 9 = 44$

③ $-4x + 2 = 30$

④ $2x - 5 = -6x + 11$

比例式の性質

比例式：比が等しいことを表した式 $A : B = C : D$ 内項の積と外項の積は等しくなります。 $A : B = C : D$ ならば、 $BC = AD$

比の値

 $a : b$ の比の値は、 a が b の何倍になっているかを表します。 $a : b$ の比の値は $\frac{a}{b}$

2 次の比例式を解きましょう。

① $x : 3 = 8 : 12$

② $4 : 5 = (x - 1) : 3$